

1	若者の宗像市への移住・定住促進	宗像市の年齢5歳別転出入者数をみると15～19歳は増加しているものの、20～24歳はそれをはるかに上回る減少数である。市内事業所への就職の促進など若者の宗像市への移住・定住を促す具体的な方法を検討、実行してほしい。	経営企画課
2	総合計画策定への参画	宗像市は「第3次宗像市総合計画」を令和7年度に策定予定であり、現在計画方針などを定めている。計画策定にあたり未来を担う小中高生やまちづくりの即戦力となる大学生の意見を取り入れたい。どのようにして意見を取り入れるのか、具体的な方法を検討、実行してほしい。	経営企画課
3	カーボンニュートラル推進	本市では令和3年10月8日に「ゼロ・カーボンシティ」を宣言し、脱炭素社会を目指す施策を積極的に取り入れている。昨年度の宗像国際環境会議では「未来を創る若者会議」にて、ゼロ・カーボンシティ実現に向けた検討がなされ、1.若者が理解しやすいカーボンニュートラルの情報発信、2.イベント等に使用するペットボトルの削減、3.過剰エネルギー削減のための地産地消の推進 の3つが提言された。この提言を具体的に進めていく手段を検討し、実行してほしい。	脱炭素社会推進課
4	若者の選挙投票率の向上	宗像市における投票率をみると、直近の地方選挙である福岡県議会議員選挙(R5.4)では、10歳代が23.65%、20-24歳が16.04%、25-29歳が19.04%（全年代を通じた投票率は34.67%）、福岡県議会議員選挙(R2.10)では、10歳代が36.56%、20-24歳が23.82%、25-29歳が26.11%（全年代を通じた投票率は47.62%）と、他の年代と比べて、若者の投票率は低い水準にとどまっている。宗像市では令和6年度に宗像市議会議員選挙を予定しており、当該選挙における若者の投票率を上げるための啓発など若者の投票率向上につながる具体的な方法を検討、実行してほしい。	総務課